

<実施事業所 報告>

インターンシップの受入れを通して

「受入れ事業所：市役所」



1 はじめに

本市は、「豊かな自然と歴史に包まれ、笑顔と活力あふれる交流のまち岩国～人・まちをつなぐ明日への架け橋～」をまちづくりの将来像に掲げ、少子高齢化、人口減少社会においても、様々な資源・人・まちがつながっていく「交流」を通して、子供から高齢者まで誰もが未来に向けて「笑顔」で暮らせる「活力」に満ちたまちを市民が一丸となってつくっていくことを目指しています。

2 インターンシップの受入れについて

本市では、将来を担う人材の育成、確保を目的として、本人若しくはその保護者等が市内に居住し、又は本人が市内の大学等に在籍する場合に、3～5日間のインターンシップの受入れを行うこととしており、毎年数名の実習生が来られています。受入れにあたっては、実習生にとって少しでも有意義な体験となるように山口県インターンシップ推進協議会と連携し、興味のある分野や体験したい業務などを聴きながら受入部署を決定し、実習内容を検討するようにしています。

3 実施概要について

(1)研修期間：平成27年8月3日から平成27年8月28日のうち各5日

(2)受入人数：5人

(3)受入人数：情報統計課、市民協働推進課、社会課、高齢障害課、こども支援課、観光振興課、農林振興課、都市計画課、道路課、河川課

(4)実習内容：受入部署の業務について説明・質疑応答、観光行事の準備運営、土木工事現場の視察、農林業現場の検査確認作業、説明会の準備・参加、ワークショップ準備・参加、福祉施設の視察・実習

4 学生からの感想

- ・学生生活では味わうことのできない集中力や責任感、社会で働く厳しさを知り、多くのことを学べた。
- ・市役所での仕事を具体的にイメージすることができた。

5 おわりに

5日間という短い期間ですが、現場での実習や職員との質疑、会話を通じて、市役所の仕事を少しでも理解していただくとともに、まちづくりに積極的に参加する人材となる契機となれば幸いです。近年、受入期間中の大雨や台風による災害対応のため、急遽受入できない場面もありましたが、今後もインターンシップを希望される学生の皆さんに可能な限り多様な現場での実習を体験していただけるように考えています。

インターンシップの受け入れを通して

「受入れ事業所：市役所」

1. はじめに

本市は、市制100周年に向けて「地域経済の活性化」「健康で心豊かなまちづくり」「安心・安全なまちづくり」の3つの柱で「元気都市」の実現を目指しています。

また、これらの3つの柱を中心として、新たな取組を含めた施策を積極的に展開する一方、市民との情報共有と協働を基本に、更なる行財政改革をスピード感を持って進めることによって、持続可能な自治体経営基盤の確立を図りたいと考えています。

2. 受入について

本市のインターンシップは、学生の皆様が希望される部署の業務を体験していただけるように努め、より良い体験ができるように取り組んでいます。また、業務の内容によっては、学生の皆様に中心となって進めて頂くこともあります。今回の受け入れの中では、学生の方にイベント運営の中心的役割を担ってもらった事例もあります。

市には、様々な業務がありますので、ホームページ等を通じて事前に情報収集をして、自分なりの目的意識を持って体験して頂き、市政に対する理解をより一層深めていただくとともに、将来の職業選択に役立てていただきたいと考えております。

3. 実施概要

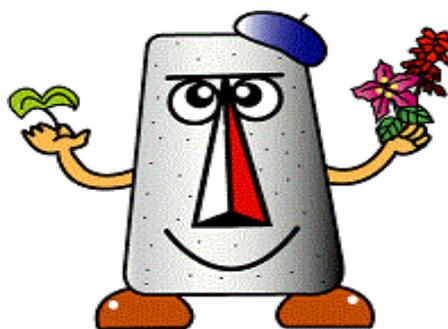
1. 研修期間：平成26年8月11日（月）から9月21日（日）のうち各5日程度
2. 受入人数：17人
3. 受入部署：資産税課、政策企画課、行政改革推進課、広報・シティセールス課、広聴課、国際政策課、市民活動課、環境政策課、商工振興課、企業誘致・雇用創造課、動物園リニューアル推進室、緑と花と彫刻の博物館管理課

4. 学生からの声

- ・学生生活では体験できない会議に出席するという貴重な体験ができた。
- ・事務的な仕事だけではなく、外の業務にも同行するなど良い体験ができた。
- ・実際に勤務している職員から、生の声を聞けて社会で活躍したいという思いが強まった。
- ・今まで何気なく見ていた事に対する印象が変わり、行政に興味を持つようになった。

5. おわりに

このたびのインターンシップを通じた体験が、地域の発展に貢献できる人材の育成にもつながるものと確信しております。また、本市にとっても若者のフレッシュな感覚に触れ、職場の活性化につながる良い刺激になりました。今後も、皆様により良い体験をしていただけるよう取り組んで参りますので興味をお持ちの方は、ぜひ本市のインターンシップに臨んでいただければと思います。



『チョコクン』

<市のイメージキャラクター>

<実施事業所 報告>

インターンシップ受入を通して

「受入れ事業所：市役所」



<市役所 庁舎正面>

1. はじめに

当市は、「笑い・花・童謡」を3本柱とした、市民が主役のまちづくりを推進しており、2013年の全国住みよさランキング（東洋経済新報社）では、全国17位と高い評価を頂いています。

インターンシップについては、山口県インターンシップ推進協議会を通じて大学生を受け入れており、学生の希望に沿った研修内容を組み立てています。

2. 受入について

当市のインターンシップは、いわゆる就業機会を提供するものとは少し意味合いが異なり、様々な部署の業務を体験していただくといった、職場体験に近い形態をとっており、この体験を通じて、市政に対する理解をより一層深めていただくとともに、将来の職業選択に役立っていただきたいと思いますと考えております。

3. 実施概要

1. 研修期間：平成25年9月5日（木）から9月13日（金）までのうち5日間
2. 受入人数：3名
3. 受入部署：総務課、子育て支援課、健康増進課、生涯学習振興課、図書館
4. 研修内容：庁舎管理、総合案内受付、施設見学、育児相談、図書貸出業務等

4. 学生からの声

- ・今まで、市民側からの視点でしか見ることのできなかつた市政について、より広い視野で見ることができるようになり、大変勉強になった。
- ・人との出会い、つながりを大切にし、市民と行政との懸け橋として、地域を知り、交流を広く持つことが大きな意味を持っているのだと強く感じた。
- ・市民に対する奉仕の姿勢や、市を活性化させようとする前向きな考えに大変魅力を感じ、これからの就職活動に対し、より一層の励みとなった。

5. おわりに

このたびのインターンシップを通じた体験が、学生の皆様にとって将来の職業選択の一助となれば幸いです。今後も、皆様により良い体験をしていただけるよう取り組んで参りますので、市政等に興味をお持ちの方は、ぜひ当市のインターンシップに臨んでいただければと思います。

<実施事業所 報告>

インターンシップ生を 受け入れて

「受入れ事業所：公務・水道事業部」



(広瀬浄水場中央管理室)

1. はじめに

当市水道事業は、昭和2年に通水を開始して以来85年間、市民の皆様へ「安全・安心・安定」をモットーに水道水の供給に努めています。平成23年度からは、「みずいく」水道水PR行動として各種イベント等に参加して、水道水の安全性やおいしい水づくり等のPRの取組を行っています。

2. 受入目的

- (1) 就業体験機会の提供
- (2) 学生を指導することで、職員の能力育成及び指導力の向上を図る。
- (3) 水道事業の業務内容のPR

3. 受入体制

研修を行う前に、必ず面談をし、受入に当たりあらかじめ送付された紙面以外の学生の希望について、会話を通じて聞き取り、希望に沿った研修内容を組み立てます。また、職員と同様の名札、作業服を貸与し、水道事業部職員としてのモラル等注意点を話します。研修後の校外実習報告書は、早めに提出してもらい、研修を担当した各職員の添削後、水道事業部にて学生が直接修正を行い職員係長が指導責任者検印をしています。

4. 研修概要

- (1) 研修期間 平成24年9月3日(月)～9月7日(金) (5日間)
- (2) 受入人数 3名
- (3) 受入部署 全課(総務課・営業課・工務課・浄水課)、
技術系の学生のため主体課は工務課、浄水課
- (4) 研修内容 全課の概要、災害時の対応、配水管工事の立会、鋼管切断等の実習、水質検査等

5. 期待・要望

24時間、蛇口をひねれば当たり前のように水道水が出る日本ですが、それを維持管理するには様々な方々が携わっています。このインターンシップを通じて職業観を養い、就職活動において自分にできる社会貢献は何かを問いかけてもらえればと思います。当市水道事業部もインターンシップの受入を積極的に行い、今後の業務に役立てたいと思います。



(消火栓設置の穿孔立会)